



いいで

学校便り 第15号

喜多方市立山都小学校

平成29年1月27日(金)

文責 校長 菊地 誠

スキー学習が始まりました。

3学期に入りまとまった雪が降り、先週、校庭に雪山を作ってもらいました。今週からスキー学習が始まっています。昨年は、雪不足のため雪山が作れなかったので2年ぶりの本格的なスキー学習です。それぞれの学年で、並んで雪山に登り次々に滑り降りていきます。2月7日(火)は、アルツ磐梯スキー場でのスキー教室が予定されています。スキー教室には、46名の方がボランティアとして協力いただけることになり、大変感謝しております。19日(木)には、教職員の実技研修も兼ねて下見に行ってきました。最高のゲレンデコンディションでスキー教室ができそうです。当日は丸1日になりますが、協力者の皆様よろしくお願いたします。学校でも体育の時間にできるだけ多く練習し、当日に臨めるようにしたいと思います。今年は、費用の関係でインストラクターが昨年より少ないので、スキーを履いて子どもたちを指導してくれる方がもう少しいると助かります。協力いただける方がおりましたら担任まで申し出てください。



毎週木曜日の朝は「縄跳びタイム」



校庭が雪で覆われる本校の子どもたちは、冬の間どうしても運動量が少なくなりがちです。そこで、体育部の発案で、木曜日の朝の活動の時間を使って全校で縄跳びを行うことにしました。1年生は生活科室、2年生は廊下、3年生以上は体育館で音楽に合わせて一齐に前跳びを5分間行います。途中で引っかけたとしても5分間終了するまで飛び続けることがルールです。縄跳びは運動量が多く大人でも5分間跳び続けるのは大変です。子どもたちは休み時間にも体育館で進んで縄跳びをしています。「進んで運動に親しみ体力を高めようとする子ども」、本校のめざす子どもの姿の一つです。

「ら抜き」がついに多数派に？

雑誌に「ら抜きがついに多数派に？」という記事が載っていました。平成27年度の「国語に関する世論調査」の結果、「今年は初日が見れた」を使う人が「今年は初日が見られた」を使う人を初めて上回ったそうです。「見れる」は年齢が下がるにつれて多くなります。「見られる」は「可能」の意味の他に「人から見られる」と使えば「受け身」の意味にもなります。「見れる」は「可能」の意味だけを表し「受け身」には使われません。「可能」に限って使えば「見れる」は合理的であり「見れる」が多く使われる理由の一つなのだそうです。「ら抜き」は文法的に間違いですが、「見れる」に限らず「出れる」「食べれる」「来れる」など、「ら抜き」を使う人が増えています。子どもたちも無意識のうちに使っていて、それが正しいと思っています。しかし、放送や新聞では「ら抜き」はまだ容認されていません。「言葉は時代とともに変化するもの」と言われますが、学校では、国語として正しい使い方を子どもたちに身につけさせなければならないと考えています。(ちょっとためになる話)